

NO1

防空壕（第二海軍燃料^{しょう}廠跡）

所在地は四日市市日永地区（近鉄泊駅より徒歩10分、泊山小学校裏の山）



1945年6月18日未明、米軍のB29が四日市市を襲撃しました。

空爆は午前0時45分から約1時間半にわたり、無数の油脂焼夷弾が市街地に投下されました。空襲は、この後数日間におよび、773人の尊い命が失われました。

この防空壕は、泊山小学校近くの丘の斜面にあり、高さ2メートルほどの大きさのものです。

第二海軍燃料廠の疎開施設の貯蔵用トンネルで、当時は戦闘機の燃料のひとつを蓄えておくところだったそうです。

現在は入り口はふさがれ、そのまわりは畑になっています。

20050625 掲載